

### 2021年度 成果

昨年から続くコロナ禍の影響により、当初実施を計画していた「仙台七夕まつり企画」、「大道芸×CFBカーニバル」等、人を集めるイベント実施が難しい状況の中、密をつくらず海洋ごみ削減につながるアクションや啓蒙に繋がる企画を実施。宮城県が主催を務めた「第40回全国豊かな海づくり大会」との連携により、当団体のプレゼンスを高めながら地域の方々との連携を強めた。また、昨年度から継続で実施している「SNS×拾い箱企画」と「J1ベガルタ仙台連携企画」では、昨年度を超える「参加人数」「投稿数」「いいね！数」を獲得。事務局にも学生を中心に、海洋ごみや活動に関する問い合わせが入るようになり、多くの方々に浸透してきたことを実感している。



**SNS×拾い箱連携モデル**  
ゴミ拾いの写真を#で投稿するSNSキャンペーン。オリジナルゴミ箱を県内4カ所に設置。2万6000件のいいね！を集めた。

**地域プロスポーツ×連携モデル**  
サッカーJ1ベガルタ仙台と連携し、地域ごみ拾い&会場PRを実施。受付前にも50名が列を作り大きな賑わいを見せた。

**自治体連携モデル**  
今年宮城県で開催「全国海づくり大会」との連携して地域清掃活動&海の大切さについて伝えていった。

**コラボ商品モデル**  
宮城県キャラクター「むすび丸」やサッカーJ1「ベガッ太君」とコラボ。パッケージには、ロゴ印刷だけではなく、CFBの取り組み伝えた。



11/13(土)~12/12(日)  
海岸フォトコンテスト「海街BLUE」を実施



**ライトアップ企画**  
「アストロヒカリ×CFBブルータイム」  
※5時30分(ゴミゼロ)からは海について考えるプログラムを90日間実施。

### メディア露出



5/30 「スーパーJチャンネル」  
宮城県×全国海づくり大会×ゴミ拾い

6/18 「突撃!ナマイキTV」  
みやぎビーチクリーンアクト2021告知

9/26 「もえすぽ」  
J1ベガルタ仙台×海に感謝イベント

8/9 「チャージ！」渚の交番  
その他：TV 9本 WEB 27本 掲載

### 2021年度の課題とこれからの展望

SNS×拾い箱企画は景品目的ではなく、「海をキレイに」という想いに共感をしてくれた方々がアクションをしてくれている。きっかけを広げる為にインセンティブが必要な事業もあるが、今後も「海の為に参加したい」という企画を立案していきたい。課題としては、これまではアクションをしてもらうことに注力しており、「なぜ海洋ごみ削減が必要なのか」や「宮城県内の水産事情」について十分伝えられなかったのではと感じている。今後は、全国屈指の水産県である宮城県において、『海の豊かさを守る』大切さを伝えながら、『海洋ごみ削減へのアクション』をKPI設定すると共に、地域の方々からの問い合わせに対応する為に専門家との連携も深めていきたい。